

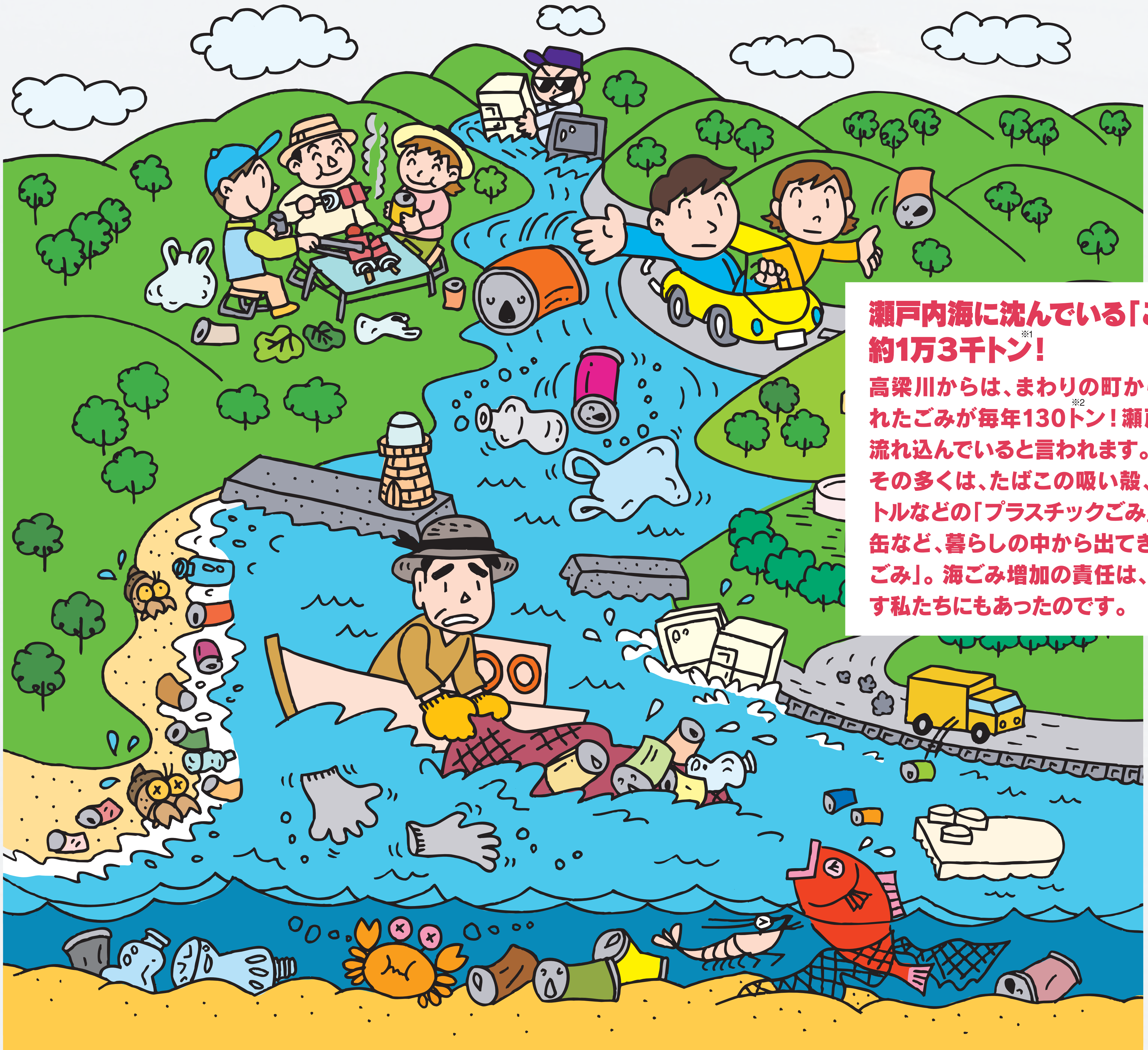
# 海ごみはどこから来るの？

大変！ 私たちの瀬戸内海に「ごみ」が流れ出ています。

瀬戸内海は外からの海水が入りにくい海。だから海ごみのほとんどは町から流れ出たものです。道ばたのごみが雨で流されたり、風に飛ばされたりして川へ運ばれ、そして海へと流れ込みます。

ごみが川から海に流されている！

町で捨てられたごみが海ごみになっている！



瀬戸内海に沈んでいる「ごみ」は約1万3千トン<sup>※1</sup>！

高梁川からは、まわりの町から集められたごみが毎年130トン<sup>※2</sup>！瀬戸内海へ流れ込んでいると言われます。その多くは、たばこの吸い殻、ペットボトルなどの「プラスチックごみ」や、空き缶など、暮らしの中から出てきた「生活ごみ」。海ごみ増加の責任は、町で暮らす私たちにもあったのです。

※1:「平成18年度 瀬戸内海海ごみ対策検討会 報告書」(環境省)

※2:「高梁川流域における海ごみ対策基礎調査 報告書」(平成23年 岡山県)

## 国内のプラスチックの動き

プラスチックの生産量1050万トン。<sup>※3</sup>  
このうち2~6万トンが海ごみに！

※3:2019年 プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分の状況(一般社団法人プラスチック循環利用協会)



※4:環境省「海ごみを巡る最近の動向」H30